

# みんなの議会

# あつ

No.134  
平成21年5月7日



## 第3回 議場コンサート

3月10日、第1回定例会において、鷹栖中学校3年生の皆さんの合唱による議場コンサートを開催しました。

## 第1回定例会 で決めたこと

委員会活動・第2回臨時会・第3回臨時会・議会のうごき

一般質問

町長・教育長の執行方針報告に対する質疑

予算審査特別委員会

わたしの一言 **あとがき**

2～4ページ

5ページ

6～15ページ

16～18ページ

19～21ページ

22ページ



人 自然 あつたかす

# 町民税1%を財源に 「協働のまちづくり推進事業」を新設

## 3月定例会で決めたこと

第1回定例会は、3月10日から9日間の会期をもって開催し、平成21年度の町政執行方針及び教育行政執行方針報告を受けたあと、9名の議員が一般質問を行い、町長、教育長の考えをいただきました。議案審議は、平成20年度7会計の補正予算、条例の制定・改正・廃止、平成21年度8会計の予算及び鷹栖町監査委員、上川支庁管内町村公平委員会委員の選任同意について審議し、原案のとおり議決しました。また、意見書3件について採択し、3月18日に閉会しました。

## 条 例

■鷹栖町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定

介護報酬の改定により、第1号被保険者の介護保険料の急激な上昇を抑制するため、基金を設置する条例を制定しました。

■鷹栖町監査委員条例の全部改正

財政健全化に関する法律施行に伴い、新た

な審査事項を明文化するとともに、条例設置目的や事務局規定などの整備のため、全部改正しました。

■たかすメロデイホール条例の全部改正

従来の「たかすメロデイホール設置条例」にホールの設備及び備付物品の使用に関する使用料を徴収するための改正と、利用申請手続き等の条文整備のため、全部改正しました。

■上川支庁管内町村公平委員会共同規約の一部改正

公平委員会の構成団体変更に伴う改正をしました。

■鷹栖町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき、職員の勤務時間を週40時間から週38時間45分に変更したことに伴い、関係条文を改正しました。

■鷹栖町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

職員の勤務時間変更に伴い、関係条文の改正をしました。

■鷹栖町手数料徴収条例の一部改正

権限移譲の一環として、連結法人の優良住宅新築認定申請事務が道から町に移されたことに伴い、関係条文を改正しました。

■鷹栖町体育館条例の一部改正

体育館使用料の免除規定に減額規定を加える改正をしました。

■鷹栖町B&G海洋センター条例の一部改正

海洋センター使用料の免除規定に減額規定を加える改正をしました。

■鷹栖町乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正

■鷹栖町ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正

■鷹栖町重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正

いづれも、医療費助成の対象外となる者に「小規模住宅型児童養育事業を行う者」に委託され医療費の給付を受けている者を加える改正をしました。

■鷹栖町サンホールびねすの設置及び管理に関する条例の一部改正

サンホールはびねす分室の「陶芸の部屋」の使用料1回当たりに1人当たりに変更する改正をしました。

■鷹栖町介護保険条例の一部改正

第1号被保険者の基準介護保険料月額4,400円を4,600円に変更する改正をしました。

■鷹栖町公共下水道条例の一部改正

下水道使用料の基本料金10㎡まで1,150円を8㎡まで950円とするなどの改正をしました。

■鷹栖町地域交流館条例の廃止

地域交流館（旧第二中学校体育館）の用途変更に伴い、条例を廃止しました。

## 補正予算

### ■一般会計

歳入歳出予算をそれぞれ1億5千万円減額し、予算総額を53億9,544万8千円としました。

主な補正内容は、次のとおりです。

- ・議会費△ 11万円
- ・総務費△1742万円
- ・民生費△7714万円
- ・衛生費△1,427万円
- ・農林費△1,595万円
- ・商工費△ 268万円
- ・土木費△1,479万円
- ・消防費△ 117万円
- ・教育費△ 603万円
- ・公債費△ 44万円

### ■国民健康保険特別会計

歳入歳出予算をそれぞれ225万8千円減額し、予算総額を8億5,403万2千円としました。

主な補正内容は、事業完了見込みによるものです。

### ■後期高齢者医療特別会計

歳入歳出予算をそれぞれ698万3千円減額し、予算総額を5,842万2千円としました。

主な補正内容は、事業完了見込みによるものです。

### ■老人保健特別会計

歳入歳出予算をそれぞれ800万円減額し、予算総額を9,321万円としました。

主な補正内容は、事業完了見込みによるものです。

### ■介護保険特別会計

歳入歳出予算をそれぞれ1,315万3千円増額し、予算総額を5億7,689万2千円としました。

主な補正内容は、事業完了見込み及び介護給付準備基金積立てによるものです。

### ■公共下水道特別会計

歳入歳出予算をそれぞれ345万6千円減

額し、予算総額を4億2,906万円としました。

主な補正内容は、事業完了見込みによるものです。

### ■水道事業会計

収益的支出で441万6千円減額し、予算総額を1億9,258万9千円としました。

資本的支出では1,672万2千円減額し、予算総額を2億1,949万3千円としました。

主な補正内容は、事業完了見込みによるものです。

## 人事

### ■鷹栖町監査委員の選任同意

任期満了に伴う監査委員に次の方の再任に同意しました。

膳法 法幸さん

12線6号4番地



### ■上川支庁管内町村公平委員会委員の選任同意

任期満了に伴う公平委員会委員に次の方の再任に同意しました。

武島 勇孝さん

中富良野町丘町

1番24号

## 意見書

次の3件の意見書を採択し、関係行政庁に提出しました。

■公的医療機関の安定経営と地域医療の確保を求める意見書

■北海道の自衛隊体制維持を求める意見書

■中山間地域等直接支払交付金制度の継続に関する意見書

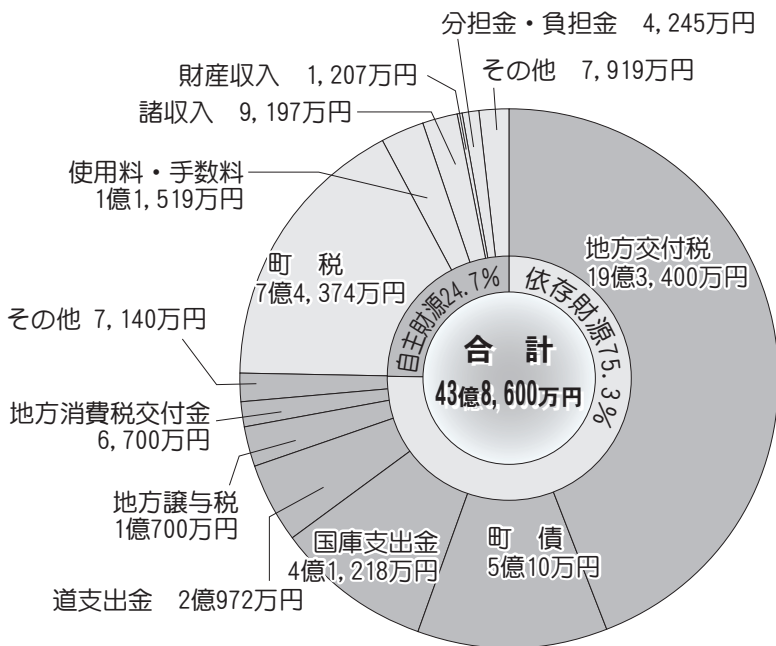
## 新年度予算

平成21年度予算について、議員全員による予算審査特別委員会の審議を経て、総額66億5,378万2千円を原案のとおり可決しました。主な質疑内容は、19ページ以降に記載しています。

### 一般会計における主な新規事業

- ◎総務費 (協働のまちづくり推進事業・上川広域滞納整理機構事務開始)
- ◎民生費 (子育て支援センター移設、北野保育園改修、障がい者就労支援モデル事業)
- ◎農林費 (新規就農者確保対策事業の拡充)
- ◎土木費 (橋梁長寿命化策定業務委託)
- ◎消防費 (水槽付消防ポンプ自動車更新)
- ◎教育費 (子どもの生活習慣見直し運動の推進、町民球場改修)

# ●平成21年度 一般会計予算の内訳 グラフ

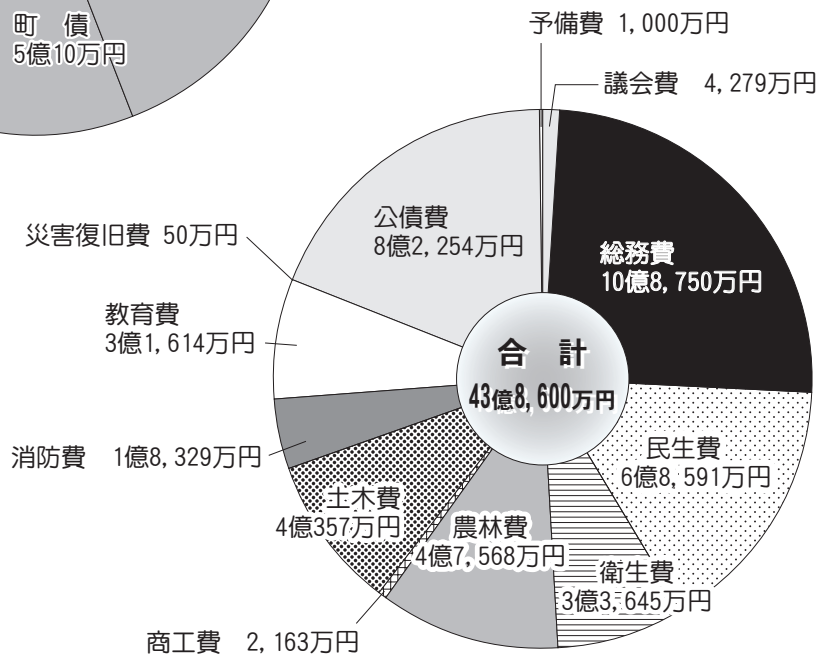


## 歳入の構成

**自主財源…**  
町が自主的に収入とすることができるお金

**依存財源…**  
国・道から交付、補助されるお金や借金(町債)

## 歳出の構成



# ●歳入歳出総括表

(単位 千円・%)

会計名	平成21年度予算額	平成20年度予算額	増減	対前年度伸長率	
一般会計	4,386,000	5,174,000	△788,000	△15.2	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)特別会計	863,200	846,847	16,353	1.9
	後期高齢者医療特別会計	64,824	65,405	△581	△0.9
	老人保健特別会計	1,505	87,307	△85,802	△98.3
	介護保険特別会計	568,708	553,125	15,583	2.8
	公共下水道事業特別会計	374,889	430,585	△55,696	△12.9
	公平委員会特別会計	12,043	11,768	275	2.3
	計	1,885,169	1,995,037	△109,868	△5.5
企業会計	水道事業	181,678	197,005	△15,327	△7.8
	資本的支出	200,935	236,215	△35,280	△14.9
	計	382,613	433,220	△50,607	△11.7
合計	6,653,782	7,602,257	△948,475	△12.5	

委員会活動

議会運営委員会

12月17・29日、1月16日  
議会改革の取組みについて審議しました。

1月27日

第1回臨時会で提案される案件など、議会運営について協議しました。

3月4日

第1回定例会で提案される案件や意見書の取り扱いなど、議会運営について協議し、会期を9日間と決めました。

3月31日

第3回臨時会で提案される案件など、議会運営について協議しました。

総務文教常任委員会

2月19日

第2回臨時会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。

2月27日・3月2日

第1回定例会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。

3月26日

第3回臨時会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。

経済福祉常任委員会

2月20日

第2回臨時会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。

2月24・25日

第1回定例会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。

3月26日

第3回臨時会で提案される議案について説明を受け、内容を審議しました。

第2回臨時会

2月23日

一般会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ2億7,781万3千円追加し、予算総額を55億4,544万8千円としました。

補正内容は、国が景気対策として実施した定額給付金支給事業及び地域活性化・生活対策臨時交付金事業に関する事業実施に伴うものです。

- ・総務費 1億2,196万円
- ・民生費 1,606万円
- ・商工費 1,200万円
- ・土木費 7,145万円
- ・消防費 187万円
- ・教育費 5,447万円

加し、予算総額を53億9,167万円としました。

補正内容は、国が景気対策として実施した

定額給付金支給事業及び地域活性化・生活対策臨時交付金事業の事業費確定によるものです。

- ・民生費△45万円
- ・土木費△101万円
- ・教育費△232万円

高額の財産取得の議決

町立保育園屋外コンビ遊具、小型除雪機、タリール車及び教育バスの取得について議決しました。

追加提案

一般会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ180万8千円減額し、予算総額を53億8,986万2千円としました。

補正内容は、高額財産取得の事業費確定によるものです。

第3回臨時会

3月31日

一般会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ377万8千円追

議会のうごき

1月7日

平成21年鷹栖消防出初式

9日

鷹栖町老人大学新年交礼会

11日

平成21年鷹栖町「はたちのつどい」

13日

「定住自立圏構想」等に関する道北地域合同説明会(旭川市)

16日

議会運営委員会

19日

旭川市防災センター視察(旭川市)・議員協議会

27日

議会運営委員会

29日

たけうち英順道議会議員「新年道政報告会」

2月

ささき隆博衆議院議員「新春ふるさと集い(旭川市)」

4日

第1回鷹栖町議会臨時会

7日

老人大学講義

9日

今津ひろし鷹栖町後援会新年交礼会

10日

上川中央都市・町議会議長会定例会議(東神楽町)

19日

元鷹栖町議会副議長 故相澤良一様葬儀

20日

上川教育研修センター組合議会

23日

第1回定例会(旭川市)

24日

総務文教常任委員会

25日

委員長等会議・経済福祉常任委員会・

26日

農民連盟定期総会

27日

第2回鷹栖町議会臨時会

28日

議員協議会・森林組合通常総会

29日

経済福祉常任委員会

30日

上川町村議会議長会定期総会(旭川市)

31日

第3回鷹栖町議会臨時会

3月

総務文教常任委員会

4日

第26回たけすくスキーフェスティバル

10日

議会運営委員会・自衛隊入隊者激励会

12日

第1回鷹栖町議会定例会

13日

議員協議会

21日

老人大学・大学院卒業証書授与式

26日

修了証書授与式

30日

ゴールドコースト友好訪問団出発式

31日

議会運営委員会・議員協議会



新田 健一 議員

問 1  
パレットヒルズの  
開発計画について

答  
方向性については  
話し合っていて決めた

質問

パレットヒルズは、平成元年と平成2年に土地を購入し、町民の意見を聞きながら開発計画を立ててきています。

桜を中心に植樹が行われ、町内の小・中・高等学校をはじめ、老人会、さつぼろ鷹栖会などが記念植樹を行い、パレットヒルズを育てています。また、子どもから高齢者まで一人でも多くの町民に公園を訪れて

もらう目的と、将来の

管理経費の財源の一部に充てるため、パーク

ゴルフ場の建設を行い、平成21年度のオープンを目指してきました。

新町長体制の中、今後どのように開発を進めていくのか。また、

公園としていつ人を呼び込めるのか。町長の考えを伺います。

答弁 町長

パレットヒルズは、平成10年から「蛇山」開発基本構想を事業化

し、多くの人の思いと協力があって、進められてきたと感じています。今後については、引き続き桜の植樹など、皆さんの協力をいただき、進めていきたいと思

パークゴルフ場のオープンについてはまだ課題と困難があるので、平成21年度は見送り、皆さんの意見をもう一度聞かせていただいで、考え方をまとめたいと思

問 2  
保育園の長期有効利用と  
保育施策の充実について

答  
保護者と相談し、  
進める

質問

鷹栖保育園は、平成21年に新しくなります。しかし、今のままでは、数年後には子ども数は減少します。町長は新しくなった保育園の長期有効利用

施策を考えているのでしょうか。

また、平成21年度の予算で北野保育園の改修工事を計画していますが、まず保護者と十分話し合い、理解を得て改修工事をすべきではないのでしょうか。

町長は鷹栖保育園の長期有効利用と全体的な保育施策について、どのように考えているのか伺います。

答弁 町長

鷹栖保育園の有効利用については、隣接の子育てセンターと連携しながら運営を図っていききたいと思っています。

北野保育園改修工事については、鷹栖保育園改修により子育てセンターを北野保育園の一時的な代替施設として活用できるので、今回提案させていただきました。

送迎関係などについては、子どもたちの保護者と相談して理解をいただき、万全な対策をとっていききたいと思っています。



近藤 義紀 議員

**問**  
第7次鷹栖町総合  
振興計画策定について

**答**  
総括・評価を基に  
行財政改革と整合を図る

**質問**

平成21年で第6次鷹  
栖町総合振興計画（以  
下、「6総」という。）  
が完了し、第7次鷹栖  
町総合振興計画（以下、  
「7総」という。）の  
策定がスタートしてい  
ます。策定に当たって  
は6総の総括が大切だ  
と思いますが、策定要  
綱には総括の方法が明  
記されていません。計  
画策定と総括は切り離  
せない関係だと思います  
が、町長はどのように  
考えますか。

また、計画策定視点  
の4項目については前

町長の下で策定されま  
したが、この4項目を  
変更するのが、このま  
ま変えずに7総に取り  
組むのか。変えるとな  
れば、その視点はどの  
ようになるのか伺いま  
す。  
次に、平成16年に策  
定した行財政改革大綱  
も、平成21年度が目標  
達成年次となっていま  
す。財政改革なくして  
行政改革なしと言われ  
ますが、町長は行財政  
改革について今後どの

ように進めていくのか  
伺います。

まちづくりについて  
昨年、福島県矢祭町の  
高信教育長の講演があ  
り、参考になる事項が  
あったと感じています  
が、町長はどのように  
考えているか伺います。

**答弁 町長**

6 総の総括について  
は、実施計画の達成度  
を集約していますが、  
平成20年度の決算後  
は進ちよく状況の資料  
を提供できると思いま  
す。

総括と計画の関係は  
過去の実績経過、その  
時々の最良の判断でま  
ちづくりを進めてきま  
した。6 総の課題を見  
いだし、行財政改革に  
よって変化する場面も  
あると思います。7 総  
の策定議論の中で、町

民の皆さんの意見もあ  
ると思いますので、そ  
の中で方向づけていく  
ことが7 総のまちづく  
りだと思えます。

計画策定視点の4 項  
目については、この視  
点でいくのが順当であ  
ると決断したので、策  
定委員の方をお願いを  
しました。

行財政改革について  
は、これまでの総括・  
評価を基に次の段階・  
課題を把握し、どこを  
直せば町がよくなるの  
か、決断していくこと  
が重要と考えます。

総合計画と行財政改  
革大綱とは切り離せな  
いので、整合性を図っ  
ていかなければならな  
いと思います。場合に  
よっては厳しい行財政  
改革大綱に変様するか  
もしれませんので、皆  
さんと議論をしていき  
たいと思います。

矢祭町教育長の講演  
については、途中参加  
でしたが、参考になる  
部分がたくさんありま  
した。すごいと思うと  
ころは、「合併しない  
宣言」によって、町民  
が自分の町の自立に向  
けて考え、協力し合っ  
た結果が、「もつたい  
ない図書館」など、背  
景には町民のエネル  
ギーがあったことです。  
まちづくりの基本は  
住民主体で一人ひとり  
が、そこで暮らし、夢  
を持ち、自分たちの町  
の中に彩りを作ってい  
くことだと思いますの  
で、それを早く実現で  
きるように町の方針・  
運営を積み重ねていき  
たいと思います。



山田 昇 議員

**問** 回収されない  
ごみ等について

**答** 地域の方に  
ご協力いただきたい

**質問**

ごみは、ごみ袋に分別し、地域ごとに定められたごみステーションに置くことになっていますが、誰が置いていかなければならない分別されていません。収集車にごみ袋を用意して、分別回収してはいかがでしょうか。

ごみステーションに家電製品等を捨てることはできませんが、昨年10月にテレビが不法

投棄されていたので、役場に相談をしたところ、地域に任せているとのことでした。しかし、家電製品等を町内で処理することは大きな負担になるので、町で対応すべきと考えますが、町長の考えを伺います。

**答弁 町長**

ごくまれに、分別されていらないごみ袋が、ごみステーションに置かれる場合があります。

ごみステーションは町内に173カ所設置しており、曜日に分けて計画的に収集しています。1日当たり100カ所前後を収集しなければならぬため、移動を含めて収集時間は1カ所4分以内で行わなければなりません。

提案の件ですが、一定のルールに基づいてごみステーションに置いてもらうことが前提です。

収集時間の制限もありますので、町民の皆さまには地域力を発揮していただいて、分別の協力をお願いしたいと思います。

ただ、その分別に必要なごみ袋については、町で提供することを検討したいと思います。

ごみステーションに家電製品を置くなどと

いう不法投棄的なものは、鷹栖町でも発生しています。町では家電4製品（テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機）は収集できません。

このような場合、本来であれば不法投棄ということで警察に通報するような案件ですが、できるだけ自分たちで解決したいと考えています。

しかし、そこに置けば回収してくれるとい

う形になれば、このルールは崩壊してしまいます。また、町で処理するとなると費用の問題も発生します。

ごみ収集のルールはいったん崩れると、元に戻すのは非常に困難ですので、皆さんにもそのことを十分理解してもらい、地域力で何とか解決していただきたいと考えていますので、理解と協力をお願いしたいと思います。



ごみの収集作業





加藤 敏昭 議員

問 鷹栖町農業振興公社と  
農業振興

答 体力のある間に変化を

質問

国の経済情勢や農業情勢は変動の時を迎えています。

このような厳しい時だからこそ、農業振興公社を中心とした農業振興を考えていく時ではないかと思えます。

現在、町は農業振興公社の株49%を持っていますし、今後町長の持ち株1%の取得計画もあります。

しかし、町には組織内で農業振興公社の株

主としての考えを議論する場がありません。

農業振興公社設立に際して町が出資をしたのは、農業振興公社が町民や地域産業の発展に必要と考えたためだと思います。組織内での議論を深めて農業振興公社に提案することが、株主として企業価値を高めるための大切な役目と考えます。

町の農業振興に何が必要なのか、農業振興公社が中心となり、行政と両農協が協力して、

農地利用や将来ビジョンを含めた農業政策を考えることなど、様々な可能性があると思います。

企業価値を高めるために株主として、行政全体での議論により農業振興公社の進む道を見つけないければならぬと考えます。

また、役員についても、議会から議長・経済福祉常任委員長が就任していますが、組織内での議論の場もなく、議員個人の意見でしか発言ができない場面もありますので、そのことについても今後の話し合いが必要と思えますが町長の考えを伺います。

答弁 町長

町全体の農業振興を、

農業振興公社に求めることは難しい問題もあり、町の農業政策のビジョンは町全体で議論すべきだと思います。

正式にまだ決定していませんが、農業振興公社の中に実務レベルの検討会の立ち上げを、取締役会で発案しまし

た。次期の株主総会で具体的な提案をして、実務レベルの検討会が承認されれば、少しずつ農業振興公社の変化

につながると思えます。町や議会の中で議論

する場については、どのように確保したらいいのか今は現実的な答えを持っていません。今後、どのような提案や応援ができるか考えていきます。

また、議会からの役員就任については、今後も議会の代表として、

株主である町の方向づけをしていただきたいと思います。

今までのアドバイスを参考にしながら、実務レベルの検討から始めれば、課題も見いだすことができま

す。その課題に一つずつ対応し、農業振興公社の体力がある間に変化をつけていきたいと考えています。

時間はかかると思いますが、努力していきたいと思えます。





百武 和重 議員

問  
緊急時の  
体制と対応について

答  
防災計画に準じた対応

質問  
先頃、町内において住民の行方がわからなくなりました。

過去3年間で10件も発生しており、中でも認知症の方の行方不明者が増加している状況です。

北海道によると高齢化の進展に伴い2040年まで認知症高齢者数が増加するとされており、今後高齢者の行方不明などの事案が増加すると予想されます。今回の行方不明では、役場が中心となり職員

や町内の方のご協力のもと捜索を行いましたが発見できず、通りがかりのドライバーが行方不明の方に気付き、無事に解決しました。

そこで、今回の捜索はどのような計画や体制で行ったのか。また、今後どのような対応を考えているのか。さらに、町の防災計画との連携はとれているのか、計画は生かされているのかを伺います。

答 井 町長  
年に数回、住民の方

の行方不明が発生していますが、その都度、対応をしている状況です。

今回は、町の防災計画の「災害時の行方不明者捜索」に準じて捜索範囲の検討を行い、課長等に連絡し、職員の協力を求め、15班編成で捜索を行いました。また「SOSやまびこネットワーク」や「鷹栖さつき苑」の方にも情報提供し、協力者を拡大しながら対応しました。

結果は、行方不明発生から3〜4時間後に通りがかりの方が声をかけ北斗駐在所まで送り届けていただいた状況です。

行方不明者の対応は、人命を優先し、できるだけ早い発見が望まれるのですが、移動しますので時間とともに捜索範囲も広がり、発見が難しくなっているの

が実情だと感じています。

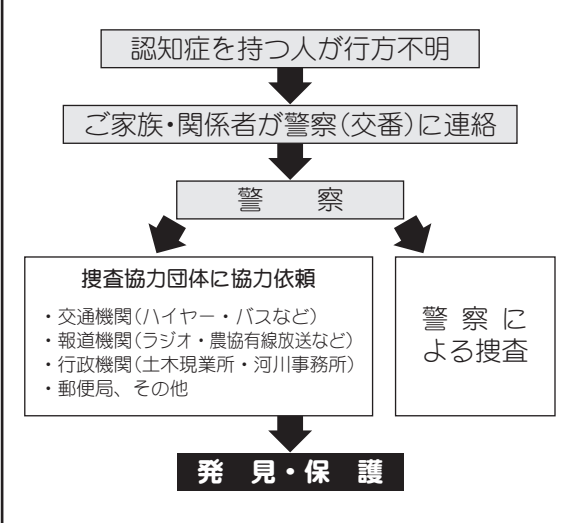
最近では、携帯電話に情報の一斉送信ができるシステムもありますので、職員や消防団への情報提供や連絡に活用することを検討したいと思います。

また、認知症の方には、居場所のわかるGPS端末の利用を勧めたいのですが、個人負担がかかりますので町としても費用の一部を支援しています。

一番肝心なのは認知症予防ですので、鷹栖町のテーマとして予防対策に取り組み、行方不明者を少なくしていきたいと考えます。

しかし、いざという時には、効果的な対応ができるよう、今までの経験を基に捜索範囲を定め、「オフトーク」や「ファックス」での呼びかけで町民の協力の輪を拡大していただき、対応したいと考えています。

SOSやまびこネットワーク利用の仕方





植西 辰義 議員

**問 1** 市町村合併についての考え方と広域連携の見通しは

**答** 広域連携を進め自立を目指す

※行政コスト計算書…

町が行政サービスを提供するために掛った費用と町税や地方交付税などの収入の差額を計算するもので、土地・建物の購入費は費用からのぞく反面、現金支出を伴わない建物の減価償却費は費用として計上する。

**質問** 市町村合併特例法に基づく市町村の数は、道内では212から180と、全国ベースに遠く及ばない15%減でした。このため北海道では、更なる合併推進を図るため、市町村数を60に絞った合併構想を策定しました。

**答** 鷹栖町は平成15年に、当分の間、ほかの市や町と合併しないで自立のまちづくりを進めていく方向性を持ちました。その後、いろいろな変遷がありました。私も現在の合併新法の

ほかの検討事項である消防・介護保険・国保・老健などが一向に進んでいない状況とありますが、市町村合併と広域連携についての考えを伺います。

鷹栖町長

**問 2** 行政コスト計算書の導入は

**答** 早期導入に向け準備

**質問** 地域経済の低迷が続いている中で、行財政改革をさらにスピードアップしなければならぬと思います。行政サービスのコストを掌握することで、将

来的な建設的施策の第一歩となる手法として、総務省が提示している「行政コスト計算書」があります。これを導入することにより、コスト意識を持った仕事の取り組みや業務のスピードアップ、簡素

間（平成22年3月）までに合併する考えはありませぬ。町村会でも、広域連携について議論をされており、今回、上川中央部8町で町税の滞納整理を行う上川広域滞納整理機構が発足いたしました。今後は、消防防災について議論を

進めていきます。町の自立活性化は永遠の課題ですが、国が示す定住自立圏構想についても、中心となる旭川市と周辺の町が連携協力して、圏域全体の活性化を検討しながら、制度の活用を議論し取り組みたいと考えています。

鷹栖町長

公務員は昔から単式簿記に慣れ親しんできましたが、複式簿記が行政コストに有効であるということが認識され、平成12年から総務省で検討が始まりました。平成19年10月に、公会計の整備促進に関する通達が発布され、資産・債務の管理に必要な会計整備の要請があり、財務諸表作成のマニュアルも示されております。総務省より、平成22年度の決算から公表するようにと要請されていますので、中央部8町の関係者と協議や研修をしながら、準備を進めていきたいと考えています。

**問 3** 学校給食費の値上げについて

**答** 価格動向見ながら検討

質問

食料費の高騰を理由に、学校給食費を引き上げている自治体が、全道・全国でかなり多くなっています。

町では、平成4年に給食費を改定して以来今日まで据え置いたままですが、仮に給食費の値上げも止むを得ないとなると、保護者の負担も増えますので、子育て支援策の一環として、学校給食費の無料化や入学祝に1年間に限って助成することはできないでしょうか。教育長の考えを伺います。

答弁 教育長

平成20年度に学校給食センター運営委員会を開催し、給食費の見直し等も含めた検討をしていただきました。

平成21年度については大変厳しい状況ですが、さまざまな工夫をしながら価格を抑え、給食費を据え置きたいと考えています。平成22年度に向けては、食料等の価格動向を見ながら、給食費の値上げも含めて給食センター運営委員会で検討していただくとともに、保護者に説明していきたいと思えます。

子育て支援等で無料化や一部助成については、検討も考えられますが、財政状況が厳しい中で、全員に負担をしていただくことが必要と考えています。

質問

新学習指導要領に基づき、平成23年度からは、小学5、6年生で英語の授業が必修となりますが、担当する教員の指導力アップを早急にしなければいけないことと、小学校だけでなく、中学校との連携や情報交換も、必要になると思います。

また、国際交流アシスタントを採用していますが、授業の中でどのように関わるのでしょうか。英語の授業に関する環境を整えないと、保護者も含めて不安を感じると思いますが、教

**問 4** 英語授業について

**答** 移行措置期間に体制作りを進める

育長の考えを伺います。

答弁 教育長

新学習指導要領の完全実施は、小学校が平成23年から、中学校が平成24年からです。今年4月からの移行措置期間に、各小中学校の教諭及び教育委員会の職員で構成する「鷹栖町移行措置教育課程検討委員会」で、準備を進めています。

小学校の外国語活動ですが、5・6年生がそれぞれ35時間の授業を行うことになっていますが、平成21年度は20時間を取り組む予定です。

教諭と国際交流アシスタントがチームを組んで指導に当たり、共通の課題を検討していくためにも、両小学校の授業内容を同じにして、教員の指導力向上に努めたいと考えています。また、国際交流アシスタントは、単なる助手ではなく、授業の指導計画から関わり、学校活動を重点とした体制を作りたいと考えています。

移行措置期間中に課題の整理と教員の研修等も図りながら、完全実施に向けて体制作りを進めたいと考えています。



神田 悟 議員

問 鷹栖町水田再編について

答 関係機関と協議しながら進める

質問

鷹栖町の農業は、比較的経営規模が小さく、後継者不足や高齢化の進行により離農者が増え、離農跡地の多くは借地として、継承されて分散錯綜が進む傾向にあります。

また、区画整備については、約4,000haの農地のうち、13%程度しか大区画整備されていない状況にあ

り、農地利用集積を図るにも、小区画が多く、

ほ場も分散しているため、効率的な機械化作業を妨げ、担い手農家の多くは今以上の農地を引き受けることが困難な状況にあります。

このような中で、北野地区では国営農地再編整備事業への取り組みを進めています。鷹栖町の農地を守るには、鷹栖町全体で大区画整備を進めるべきだ

と思いますが、町長の考えを伺います。

答 町長

地域の農業をどう守っていくか。これは大きな課題であります。

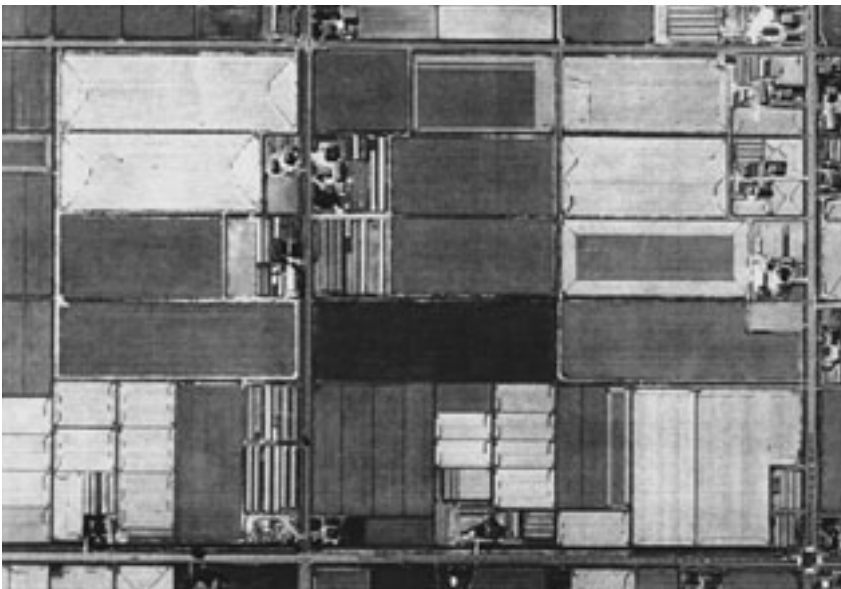
耕作地の約40%が賃貸借されている現実のなかで、農地を荒さず守り続けることが、鷹栖全体の農業のイメージアップにつながると思います。

過去から、道営ほ場整備など区画整備が進められてきましたが、時代が変わり経営形態も変化してきている中で、地域農業推進会議などにおいて鷹栖全体の農地をどう守り、保持していくのかの議論

もされてきたと思えます。

それをどういう形で、方向性と展望を開くか。そこに、町がどういう応援をするのかということも、詰めていきながら、関係機関で意見

を集約し、それを大事にしながら進めていきたいと考えています。今後、課題を一つひとつ整理しながら、乗り越えていくことが必要だと思います。



大区画整備後の農地



藤澤 孝夫 議員

問 鷹栖町農業振興  
公社の役割

答 改善や対策を検討する

答弁 町長

は瓶代や集荷などの取扱手数料の収入がありますから、利益配当は生産者へ還元するべきだと思います。

これらは設立当初の町の農業振興とは違う方向ではないかと考えます。

次に私は、経営検討委員会の設置を図ることが必要と考えます。

その中で、設立目的や趣旨に沿った事業展開がなされているか、また事業計画と実績の比較等、経営状況全般を検討するなど、経営分析や評価・検討をし、

改革プランを策定して改善すべきと考えます。

また、トマトジュースの直接販売には広報活動が重要と考えますが、地域を題材にした広報活動を行っているのか。地域資源を活用したまちづくり、農業振興の面から、町長にお伺いします。

設立当初の農業振興公社の目的が変化したということですが、確かに、時代や環境の変化による課題に対応できていなかったと思います。この問題点を整理し、方向性を見出すため、実務者レベルの検討会の立ち上げを、先の取締役会に発案しました。

トマトの直接栽培は、原料確保が困難な状況の解消のために取り組んだと聞いていますし、ビニールハウスをレンタルすることも可能かと思えます。

原料トマトの単価については、原料トマト生産部会から要望書をいただいています。農業振興公社の経営と原料単価とは切り離せない関係ですので、今後、改善を検討します。

また、配当について

は過去にもいろいろな議論がありました。取扱手数料も含め、今後の課題と考えます。

点検・評価については、今後しなければならぬ環境にあります。経営が悪化している状態ではないので、全面的な形の点検・評価は難しいと思います。しかし、早い対応で問題が抑制される事もあるので、対策を取って行きたいと考えています。

広報活動に関しては、公社でも製品の宣伝をし、努力を積み重ねています。

町ではホームページや「ふるさと通信」等で、鷹栖町に関心を持っている方に応援いただくことも含めて、今後も広報活動をしていきたいと考えています。

質問

鷹栖町は米・キュウリ・ネギなど、多くの良質な農産品が生産されています。とりわけトマトジュース「オオカミの桃」は、鷹栖を代表する農産加工品として、農業振興の役割を担ってきました。しかし、現在の農業振興公社の運営は、当初の目的である農業振興と大きな違いがあるように思います。

農業振興公社は、町と両農協が出資をして、これまで三者が役割を

持ち関わってきました。現在は、両農協とも地域合併によって取り組みが変わってきている状況もありますので、それぞれの役割を見直す必要があるのではないかと思います。

また、原料トマトの生産者は、コスト的に厳しい生産状況にある中、公社直営での原料生産を進めています。この直接栽培は、農業振興につながるのでしょうか。

さらに、毎年利益を出し、株主に配当をしています。両農協に

お伺いします。



坂根 玲子 議員

問1 「女性の目から見たまちづくり討論会」などの町政への反映方法について

答 広聴活動に参加いただきたい

質問

「女性の目から見たまちづくり討論会」・「みらい会議」で話し合われた意見やアイデアなどを、どのような形で集約し、町政に反映していくのか。今後の体制についての考えを伺います。

答弁 町長

基本的には、広聴活動の一環として受け止めさせていただき、その場面には私も職員も出向いて、いろいろな

意見を聞きます。また、まちづくりの現状や情報は「広報たかす」や「私たちのまちづくり」でお知らせしているところですが、町民の皆さんから町づくりに対する意見・提言をいただく方法としては、「町づくり懇談会」や「町づくり見学会」

「町長への手紙」、特別なテーマでの出前講座を要請していただくなど、広聴活動の一環の中に積極的に参加いただきたいと思えます。

問2 鷹栖町総合振興計画など、委員会答申後の委員のかかわりについて

答 意見を聞いて対応

質問

総合振興計画や行財政改革などの長期計画は、町長の諮問に対し、各策定委員会で基本構想・基本計画の答申が行われます。その後、行政で事業計画が立てられ実行されますが、委員の方には答申で終わるのではなく、それぞれの事業に対しての検証・評価をしていただき、次の事業への継承や見直しがあつてよいと思えます。

また、同時に町民の声を聞く場も必要と思えますが、その方法も併せて町長の考えを伺

います。

答弁 町長

総合振興計画や行財政改革では、策定委員や検討委員の皆さんによる審議により答申をいただいておりますが、策定委員会等の委員の任期は答申までとなっております。

もし、委員の中で、事業執行についての評価等を希望する場合は、任意の形になると思いますが、その場面づくりをすることも可能と思えます。参加された皆さんの意見を聞いてどのような

に対応し、方向付けするかを考えさせていただきます。また、町民の皆さんには「まちづくり懇談会」などいろいろな場面を通じて意見を聞き、実施計画の検証、見直しを行いながら、「私たちのまちづくり」でお知らせいたしますので、町に対する意見は「まちづくり懇談会」などで出していただきたいと思えます。

# 地域力を生かしたまちづくりの実現を目指し

## 町長・教育長の執行方針報告に対する質疑

### 町長に対する質疑

**質問** 21年度の国の予算

は「景気対策」を重点に置いた編成ですが、本町の予算編成は、従来どおりとなっていて

います。鷹栖町の景気対策をどのように考えているのか伺います。

**答弁**

国の景気対策としての臨時交付金1億5,400万は維持・補修などを重要事業として、景気対策を意識しながら補正をさせていただきました。

21年度予算は地方交付税の増額が見込めな

**質問** 「鷹栖工業団地」

への企業の立地を進めるため、ターゲットを絞った企業訪問など、積極的な誘致活動を実施します。』とありますが、具体的にどのような企業に対して誘致を仕掛けていくのか、また、進展はあるのか、企業にとって有利な条件整備を考えているのか伺います。

**答弁**

昨年末に、東京の企業セミナーに参加して紹介をさせていただきました。企業が倉庫などを造って貸し出す動きもあつたので、ターゲットの一つとして考えています。具体的な話までには至っていませんが、地震が少ないことや環境に恵まれていること、

住民の皆さんが気持ちよく企業を受け入れてくれる事をアピールしながら迅速に進めて行きたいと考えています。

**質問** まちづくり出前講座について、形式的な会議の方法では、活発な話し合いになりづらいと思えますので、各公民館の行事がある時

にでも役場職員が参加されると気楽に話ができ、十分に解決できることがあると思えますがいかがですか。

**答弁**

平成19年度は、43回開催して99人が参加、平成20年度は、20回40人ほどの参加をいただきました。

主に老人会や小・中学校、保健活動をしている団体などから個別のテーマをいただいて担当係長が中心になって実施しており、それ

なりの成果は上がっていると

思います。イベントに合わせて開催ですが、時間を調整しなければならぬ

こともありますし、出前講座を希望される団体の意見や意向をいただき、お互いに工夫しながら、今後も積極的に実施したいと考えています。

**質問** 高齢者の一人暮らしや老老介護状態の方が

が増え、郊外では、木戸口の除排雪や屋根の雪下ろしなどが、自力では難しくなつて、近所の方にお願ひしている状況も見受けられます。そのような方への支援対策を考えてはいか

**答弁**

高齢者の方が困っている現状は、認識しています。高齢者事業

団の活用や機械除雪などの作業の効率化を図りたいと思います。

また、屋根の雪下ろしなどは、作業をする方の安全を確保しなければなりませんし、課題を整理し、対応したいと考えています。

ボランティアをいただくことは、大変好ましくうれしく思いますので、時間をいただきどのような支援ができるか検討します。

**質問** 1市8町での消防の広域化について「前

向きな姿勢で関係市町との協議を進めてまいります」とありますが、町として今後どのような進め方を考えているのか伺います。

**答弁**

広域化による合理的な対応ができないか議論しており、1市8町の枠組みの中で鷹栖町



# 町長・教育長の執行方針報告に対する質疑

もどのような形で参加していくかの判断が重要と考えます。

町の安心・安全の確保を考えますと、広域化の方向が良いと思いますが、最終案はまだ未確定の状況です。

指揮命令権の問題など、まだまだ難しい課題がありますので、議論の推移を見ながら方向付けを図りたいと思います。

えを伺います。

答弁

既定の路線を組み合わせた町の総合交通体系が生み出せるのかという点も、検討していますが、課題提起やアイデアをいただいたので、それらを含め議論していきたいと思えます。

**質問** 町営バス・福祉バス・スクールバスが、独自に運行されていますが、将来に向けて一体的な運行はできないでしょうか。子どもたちが親や先生以外の大人と一緒に乗るということで、子どもたちの豊かな心をはぐくむのではないかと考えます。過去にも検討されており、条件面で課題もあると思いますが、考



スクールバスの運行

## 教育長に対する質疑

**質問** 学校の統廃合により、中央・北斗・北成の子どもたちは、スクールバスで送迎されています。それ以外の地区の遠距離通学児童・生徒には年間2万円の交通費が助成されていますが、送迎はされていません。

しかし、遠距離を歩くのは、安全性など、特に冬期間は問題があると思います。スクールバスを含めた運行の見直しをする考えはありませんか。

答弁

北野地区については、保護者の方がお互いに協力し合い、送迎を行っていただいています。安全に登下校するのはスクールバスだけではないと思っ

るので、保護者の方の協力をいただきたいと思います。

また、全体的な車輛運行の協議を、関係課等で検討しています。

**質問** 携帯電話での悪質な事件が起きていますが、子どもたちに携帯電話は必要でしょうか。また、町外のままさまざまな情報を保護者に提供することが事件に巻き込まれない一つの予防策になると思いますが、考えを伺います。

答弁

参観日などのアンケートで、小学生で若干名、中学生で4人1人ぐらいが持っている状況です。学校には不必要と判断し、「持ち込まない」と指導して

います。

携帯電話を持つことに関しては、保護者と子どもが十分に話し合い、情報モラルの育成を徹底することが重要だと思います。

また、学校では、子どもたちの様子を見たり、※全国Webカウンセリング協議会で学校裏サイト等の情報を教育委員会が確認しています。

情報提供については、新聞等の報道もあり、特別注意をしていかなければならないものについては、学校だより等で保護者に伝えていきたいと考えています。

※全国Webカウンセリング協議会：  
いじめ・ひきこり・不登校の子どもを持つ親及び本人への心理的援助と、不登校に関する助言などの研究活動を行っている組織。

**質問** 教育関連三法が変わり「ゆとり教育」から教育方針が変更され、授業時間数が増えます。現在の小・中学生は昨年まで「ゆとり教育」を受けていましたが、

国の教育方針が変わった今、補習などで対応していく考えがあるか伺います。

答弁

総合学習の中で一般的な授業だけでなく、自然・人・産業などにかかわりながら授業をしており、それが生きる力になり社会に出た時に生かされると思います。学力調査等の結果を見ると学力が低下していることは否めませんが、新学習指導要領の中で授業時間数等が増えている状況にありますので、人間形成も含めて対応したいと考えています。

**質問** 『文部科学省が実施した「全国学力・学習状況調査」及び「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」などにより、教育課題や家庭における役割の重要性が、次第にはつきりしてきました。』とありますが、各調査の結果、北海道は全国に比べ高い位置にはありません。学力も体力もある程度のレベルは必要だと思えますが、教育長の考えを伺います。

**答弁** 学力については、すでに結果を出すのは難しいと思いますが、学力調査に向けての勉強ではなく、道教委や町教委の改善プランに基づいて、継続的な学習ができる体制を作っていくかと思っています。

運動については、運動をしようという意識

づけが重要と考えます。そのために、休み時間の活用や、保護者と一緒

に運動ができるような体育館の開放の仕方も検討したいと思えます。また、子どもたちに自分の体力状況を把握してもらえ、自主体力テストの導入を考えています。

**質問** 「生活習慣見直し運動」はどのような内容を考え、予定しているのか伺います。

**答弁** 今の子どもたちは、テレビやゲームの時間が多く、夜型になってきている状況で、生活リズムが乱れていると感じています。

家庭の実態を把握するため、1週間の生活リズムのアンケートを、小学1・3・5年生と中学1・3年生を対象に実施したいと考えて

います。

結果に基づいて状態を把握し、プロジェクトチームの中で検討していきたい、「早寝、早起き、朝ごはん。朝日にあいさつ、朝うんち」をキヤッチフレーズに実施したいと思っております。

また、幼児に対して、保健福祉課・保育園・幼稚園・子育てセンターの方々にもかわっていたいただき、生活習慣見直し運動を広げていきたいと考えています。

**質問** 教育委員会の業務の点検評価は現在自己評価で行われていますが、より公正なものにするためには、外部の人の意見や評価を取り入れた方がよいと考えますがいかがですか。

**答弁** また、学校の評価を行っている学校関係者

の範囲を教えてください。

**答弁** 平成20年に、学校教育・生涯学習それぞれ22項目の点検評価を実施して公表しました。まず、教育委員会の事業内容を皆さんに知っていたいただく必要がありますので、広報を含めて検討します。

また、点検評価の仕方や項目なども研究したいと考えていますが、最終的には外部の方にも評価をいただきたいと思えます。

学校の評価をしていただく関係者は評議員です。また、保護者・PTAの方々や、児童生徒のアンケートを基に自己評価を行っています。

**質問** 「学校施設の維持補修並びに計画的な取り組み」とありますが、

給食センターは古い管理基準で整備されている、現在の基準では認められない施設と思えます。また、作業効率も非常に悪いので、改築や新築の計画を進めてはいかがですか。

また、米飯給食で元の米を子どもたちに食べてもらう方法を考えているのか伺います。

**答弁** 給食センターを増改築すると、現在の基準に合わない部分があると思えます。今後、衛生面に限り最大限、



北野小学校児童の登校

# 予算審査特別委員会

限られた財源の効率的活用と財政の健全運営を基本に

平成21年度予算総額 66億5,378万2千円を可決

新年度予算案について3月12日に提案説明があり、17日・18日に議員全員による予算審査特別委員会を設置し、予算計上されている事業などについての質疑を経て、原案のとおり可決しました。

## 総務費

質問 北斗バス待合所に

併設している直売所の使用料は開設当初から無料でしたが、公共施設であることから公平性を考えて、相応の負担を求めることも必要だと思います。

今後、出店希望者を全町に公募するなど必要と考えますが、利用形態について考えを伺います。

また、北斗バス待合所の維持管理はどのように考えているのか伺います。

答弁 現在は北斗地区の1団体が使用しており、料金の徴収はしていません。使用料金については、出店者と相談しながら検討していきたいと思います。

また、今後はPRに努めていき、ほかの方にも利用していただきたいと思っています。北斗バス待合所の維持管理については、月額3万円で地元の団体に委託しています。

質問 町長専用車は平成

20年4月に車検を取り、冬タイヤも新調してい

ますが、町長が就任して以来、使用されていません。

今回、町長専用車を廃止して新しく公用車を購入する計画については、専用車の廃止は良いと思いますが、町財政が厳しい中、経済性を考えると現在の町長専用車を車検のある間使用し、その後、公用車の購入を検討されてはいかがでしょうか。

答弁 公用車の運用は総体の中で効率の良い使用を考えていますが、現在の町長専用車は大型で燃費が悪く、また町

長専用なので効率が良くないと考え、使用を控えています。

公用車の購入については、町長専用車の下取り価格がよいことや、環境や効率などを考え、一番有利な形での対応ができると思っています。また、職員が機敏に行動できる車両の確保も必要ですので、一番よい機会とと思っていますが、再度検討をして、購入の際には議会のご理解をいただきたいと思います。

## 民生費

質問 北野保育園について

では、改修工事を前提とせずに、保護者と保育園の将来全般に対する話し合いを持つことが必要だと思います。工事について理解をいただいてから予算の提案をすべきと思います。

また、公共施設の耐震調査を今後6年間で行う予定ですが、今年度は北野保育園の耐震診断の予定はありません。改修後に耐震基準を満たしていないと明らかになったときはど

のように対応するのかが伺えます。

答弁 平成17年度に「鷹栖の保育の環境のあり方委員会」に諮問をして、10回程度集まり北野保育園については修繕をしながら維持をしていくべきとの答申をいただきました。

しかし、現在の保護者との話し合いはしていませんので、改めて現状と今後の対応について3月と4月の間に保護者の皆さんと相談をして報告いたします。また、耐震については大きな課題だと認識

いたしました。保護者の皆さんの理解をいただいた後、21年度に耐震診断の計画を提案したいと思えます。その結果、耐震基準を満たしていなければ、議会と協議をして対応を考えたと思います。

**質問** 障がい者就労支援モデル事業について、

就労先の事業者はどのような方法で選ぶのですか。

**障害者自立支援対策** について、昨年より予算が200万円以上減少していますが、次年度以降の見通しを伺います。

答弁

就労先は、障がい者の方を理解していただける個人や法人の農家の方にお願いをしたいと考えています。

就労は、農作業の体験を通じ、排水路の土上げや野菜の種取りな

ど農作業での可能性を検討したいと思えます。将来的にはほかの企業にもご協力もいただけるよう考えています。

障がい者自立支援対策推進事業については、北海道は平成20年度までの事業としていま

たが、平成21年度も一部予算を計上しています。

現在における次年度以降の見通しについては、まだ情報がなく、不明です。

## 衛生費

**質問** 生ごみ堆肥化について、完成した堆肥をどのように活用するか、商品として販売するのか伺います。

答弁

完成した堆肥は、肥料の成分を分析した上で試験的に公共施設に利用したり、モニターの方に使っていたが、その結果を参考に今後の活用を検討したいと



肥料発酵仕上げ室

## 農林費

思います。現在のところ販売については考えていません。

**質問** 町有林の整備事業

の平成21年度の予算は、過去5年間に比べて増額しています。今年度は財政的に苦しい中で予算措置を講じていると思えますが、事業費が増額した理由と今後の北野団地(町有林)の整備方針を伺います。

答弁

町有林の整備について、今年度は、独立行政法人森林総合研究所からの受託事業で、過去よりも増額した財源確保ができ、主に除間伐や作業道を整備する計画です。

また、280haの面積がある北野団地の整備方針は、全体で20年間

ほどの長期計画を立て、3団地に分けて、当面は、約1,000万円の事業費で第1団地から山林の調査をするために除間伐や作業道を整備する考えです。

第2・第3団地の整備についても、町民皆さまのご理解をいただきながら順次進めたいと考えています。

**質問** 北野団地(町有林)は、町外企業による乱開発の懸念があり、町が一括購入した経緯があります。

答弁

もし地元町民から、山林の一部を購入し管理したいとの希望があったときには、どのような対応を考えていますか。

答弁

町民の方からの具体的な購入希望はありませんが、北野団地は取得して間もない状態であり、町が所有してい

る限り、乱開発は防止できます。

基本的には、町が責任を持って適切な管理のもとで緑の保全を続け、豊かな緑資源を守りたいと考えています。

**質問** 上川中央部農地情報協議会はどのような目的の機関なのか伺います。

農地情報協議会は、国の補助事業を受けて、農地情報を一元管理し、構成機関などに情報を活用してもらうための機関です。

近隣の町の土地改良区、農業共済、J A、行政、農業委員会などで協議会を構成し、航空写真や地番図、農業共済の細目書、農協の作付け状況等の情報などを一括集約し、利用するもので平成21年度から一部稼働します。

## 土木費

**質問** パレットヒルズの整備費は450万円で昨年の約半分です。

**答弁** 今まで植樹をして整備した所やパークゴルフ場、管理道路等の下草刈りについては、今年購入する乗用芝刈り機により直営での管理を考えているようですが、資材高騰の中でのパークゴルフ場のコース整備や芝への施肥管理、植樹祭の経費等全体の維持を考えると、この予算内でできるのか伺います。

**答弁** 予算の内訳ですが、芝生の施肥・除草に150万円、植樹祭等に150万円、樹木の日常管理・清掃・冬囲い等に150万円を委託で進めたいと考えています。植樹祭には「日本さくらの会」から200本の

苗木が寄贈される予定ですので、この植樹費用も含んでいます。

**質問** 生活環境整備事業での原材料費については、農地・水・環境保全で取り組む材料費にも充てるとの説明を受けましたが、本来は別立てで計上すべきではありませんか。

**答弁** 草刈りについては、植樹をした所やパークゴルフ場などの全てを、月2回程度の予定で、今年購入する芝刈り機の有効利用も考え、直営での管理を計画しています。しかし芝生の管理については、雪解け後を見なければ分からないところもありますので、芝生を駄目にしないための最低限の必要経費を計上いたしました。

予算は、どの程度計上できますか。

**答弁**

原材料費は、町道の排水整備などにかかるものと、農地・水・環境保全における共同取り組み事業のものがあり、これらの区分がはっきりしないところもありますので、協力して整備を進めたいと考えています。

また、消耗品の予算については、地域農業推進会議の各支部で相談して決めています。

## 教育費

予定があるか伺います。

**答弁**

住民センターは、指定管理者と基本協定を結んでおり、金額が10万円以内の小破修繕に関しては、指定管理者に負担していただくことになっております。今回の予算は、10万円を超える5地区分の修繕料です。

鷹栖地区住民センターの修繕ですが築年数が40年近い建物で何度か小破修繕をしており、直すとすれば相当大掛かりになります。現在、担当課と状況を見ながら検討しているところです。

雨漏りに関しては昨年防水状況の点検改修をしており、今のところ漏水のない状況です。

## 特別会計

**質問** 介護予防事業の講師謝金、包括支援事業・任意事業の配食サービス委託と高齢者向け住宅生がいが活動援助員

委託を一般会計から介護保険特別会計に移行すると、介護保険料に跳ね返る事態になると思われます。

**答弁** 移行せず、一般会計のままですと住民負担にはつながらないのですが、移行した理由の説明を伺います。

**答弁** 昨年まで、配食サービスや高齢者向け住宅生がいが活動援助などは一般会計の事業として全額町費で賄っていましたが、介護保険事業に移行することによ

り事業費の約80%相当額が国や北海道から補助金を受け取ることができます。

事業移行により、65歳以上の第1号被保険者の介護保険料は月額約70円の増額となりますが、結果として、平成21年度からの第4期介護保険事業期間の3年間で町の一般財源は約1,800万円節約することができま

す。節約することにより、介護予防事業以外の福祉サービスまでできる限り継続したいので、移行させていただきま



## 帰農して 思うこと

藤井 照英  
(9区町内会)

雪解けとともに、今年もまた農家にとって、忙しい日々が始まるう  
としていきます。

近年、職業としての農業が見直されているのか、学卒者やUターン  
の若者の就農もあり、近所で農作業にいそしむ若者の姿を見ることが  
多くなりました。嬉しいかぎりではありますが、一方で高齢化と後継者  
難で離農も相次ぎ、農家の戸数が一桁台の農事組合もめずらしくあり  
ません。又、両親と後継者の三人で農業経営を行っている農家も多く、  
万が一両親のどちらかが営農に従事できなくなったら…。

今すぐではなくとも将来に不安を感じている方もいるのではないで  
しょうか。

以前から府県では、高齢化、後継者難から地域を守る集落営農の取  
り組みが進んでいます。本道は、一戸あたりの経営面積が大きいため、  
どうしても個別完結型の規模拡大や法人化を目指しがちですが、後継  
者の有無や家族構成に関係なく永続的な地域農業の発展を望むならば、  
法人が農地を受託し、後継者が法人の社員として耕作に従事するよう  
な集落営農の導入を検討する時期が近づいてきていると思います。中・  
長期的視野に立った、本町農業振興への議会や行政からの情報発信を、  
期待します。

## ● わたしの一言

## ● 日頃思っていること



## いつまでも 元気ある町で

遠藤 多美子  
(36区町内会)

私は小・中・高と、この鷹栖で学び、高校卒業後、1年札幌の美容  
専門学校へ。都会への憧れもありましたが、生まれ育った町に戻りたい  
という気持ちから、旭川美容室へ就職し、7年間色々な技術を学  
び、現在は北斗地区の自宅で、祖母から受け継いだ美容室を母と2人  
でしています。

今、『素晴らしいことだなあ〜』と思っている事があります。それは、  
鷹栖の女性は美しく歳を重ねているという事です。

子供の頃から顔見知りのお客さん…美容師として担当するようになった  
今、あの頃と変わりなく若いと感じます。きっと鷹栖の空気・お  
米・そして自分の畑で作る野菜を食べ、趣味を持ち楽しんでいるから  
に違いない！と思います。

周りの農家の主婦の方達は、夏は一所懸命働き、冬は舞踊・ダンス・  
カラオケ等で地区の芸能発表に参加し、地区を盛り上げ、みんなを楽  
しませています。私はその姿、皆さんとの会話によりパワーをもらっ  
ています。

生まれ育った鷹栖で、先輩達のキレイのお手伝いができる事を嬉し  
く思います。

この地区、そして鷹栖町がいつまでも元気ある町であるようにと願  
っています。

## あしがき

雪解けも進み、若葉の芽  
吹く季節を迎えました。

希望を胸に新しい道の第  
一步を歩き始めた皆さまに  
心よりお喜び申し上げます。  
「みんなの議会」134号を  
お届けいたします。

今定例会では、9名によ  
る一般質問、平成21年度の  
町政・教育行政の執行方針  
報告を受け質疑を行い、平  
成21年度各会計の事業及び  
予算について慎重に審議を  
して議決しました。

今後は、それぞれの執行  
状況についての議論を深め  
て、町民が安心して暮らせ  
る町づくりのために、行政  
とともに今まで以上の努力  
をしていきたいと考えてい  
ます。また、多数の方に傍  
聴していただき、ありがた  
うございました。

最後に、「わたしの一言」  
にご寄稿くださいました、  
藤井 照英 さん  
遠藤 多美子 さん  
ありがとうございました。

編集委員一同